

# 平成26年度薬物乱用防止啓発訪問事業

## 全体概要

- 受託業者: 株式会社小学館集英社プロダクション
- 事業の目的

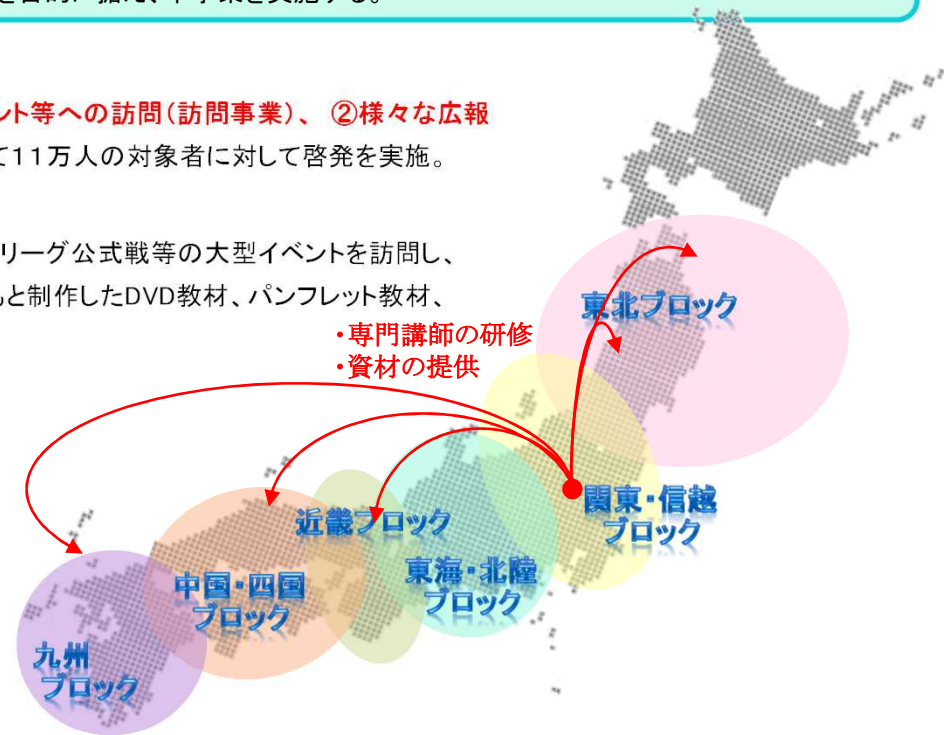
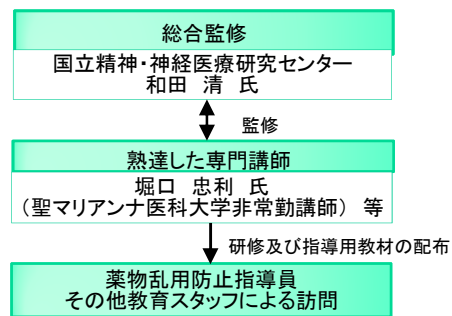
近年、麻薬・覚醒剤のみならず、「合法ハーブ」等と称して販売される薬物(脱法ドラッグ)の乱用が急速に拡大しており、特に、20歳代を中心とした若年層の間で乱用の拡大が懸念される。こうした現状を踏まえ、若い世代からその保護者及び指導者層に対して、**薬物の危険性等の正しい知識を普及するとともに、薬物乱用の誘いを断れるようにすること**を目的に据え、本事業を実施する。

- 実施内容

イメージキャラクターを活かした、①小中高等学校、地域のイベント等への訪問(訪問事業)、②様々な広報媒体を活用した普及啓発事業(補完事業)の2本柱で、年間を通して11万人の対象者に対して啓発を実施。

### 【1】訪問事業

小中高等学校等の教育機関をはじめ、全国6ブロックにおいて、Jリーグ公式戦等の大型イベントを訪問し、啓発を実施。また、実際に訪問する講師には、専門家の監修のもと制作したDVD教材、パンフレット教材、指導用ppt等を配布し、従来よりもより効果的な訪問を目指す。



### 【2】補完事業

公式Facebook、Twitter、You Tubeを開設し、薬物乱用についての最新情報や、訪問内容について随時情報をアップする。訪問が難しい場所であっても、必要な情報が伝わるような充実した内容にし、更には訪問事業と連動させることにより、より広く、より効率的で、より効果的な事業を展開。



# 訪問事業(小中高等学校、地域のイベント等への訪問)

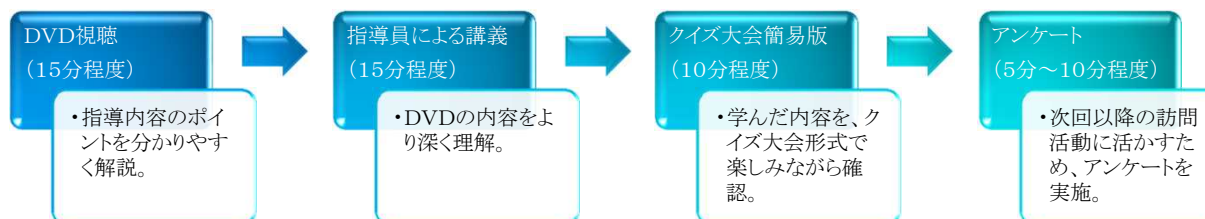
小中高等学校等の教育機関をはじめ、児童館や学習教室、Jリーグ公式戦といった大規模イベントを訪問し、薬物乱用防止の普及啓発を実施

## ○ 講義内容

イメージキャラクターを用いた啓発資材を活用しながら、①薬物乱用の最新の状況、②薬物乱用が人体に及ぼす悪影響、③薬物依存がもたらす社会的損失、④再乱用防止対策の現状、⑤薬物の誘惑から逃れる3カ条、等について分かりやすく解説。

指導時間は40分～50分を基本とし、各学校の要望にあわせた時間に可能な限り対応。

### ◆ 指導の流れ(案)



## ○ イメージキャラクターを活用した啓発資材

- ①DVD教材(※収録時間15分程度)
- ②指導用パワーポイント
- ③パンフレット教材
- ④クイズ大会簡易版

### ◆ 訪問先で用意して頂きたい資材等

- ・DVDプレイヤー 1台
- ・パソコン1台(パワーポイントが使用できるもの)
- ・マイク 1本
- ・プロジェクター 1台
- ・会場設営
- ・パンフレット及びアンケートの事前配布

## ○ 講師

和田清氏(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長)の総合監修のもと、堀口忠利氏(聖マリアンナ医科大学非常勤講師)をはじめ、薬物乱用教育の経験豊富な指導員を派遣。

## ○ 教育機関以外の訪問先

- ①Jリーグ公式戦等の大規模イベント(通年)
- ②児童館・コミュニティセンター等のイベント(通年) など

## ○ 予約受付先

事務局TEL 4月1日以降 ⇒薬物乱用防止啓発事業事務局

電話:03-5330-3043 FAX:03-5330-3377

メール:d-info@spb.co.jp

※資材のみの提供をご希望の場合も、上記にご連絡下さい。原則として、予約は4月1日から順次受け付けます。



【イメージキャラクター案】

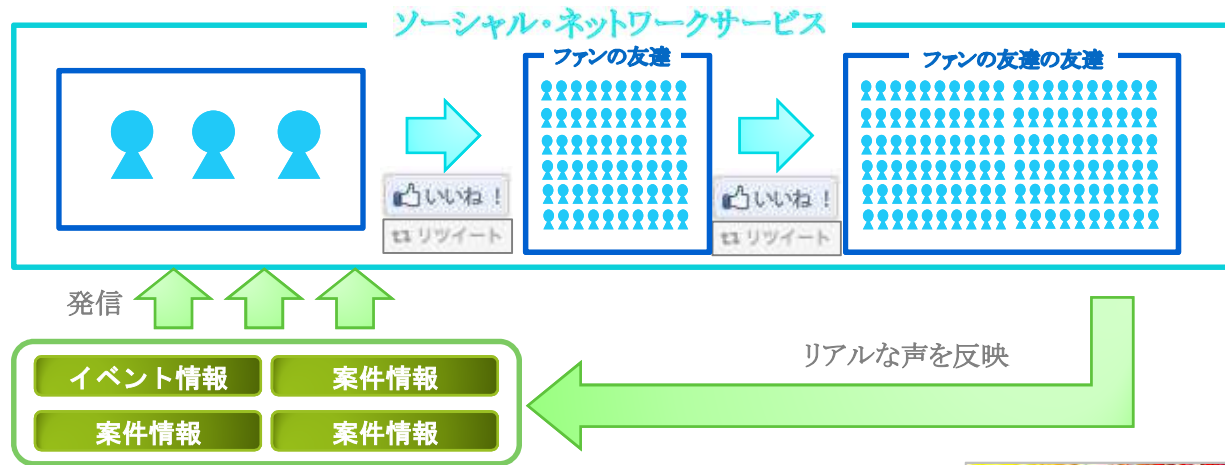


# 補完事業(様々な広報媒体を活用した普及啓発事業)

ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)という双方向のメディアを活用し、“より広く、より深い、より効率的な啓発”を実施。

- SNSの活用目的

SNSを活用することで、参加者と直接やりとりをおこない、訪問後も継続して働きかけを行う。  
また、SNSのもつ波及性を最大限に活かし、薬物乱用防止の世論の形成につなげる。



- 公式ページの開設(※4月1日オープン)

- ①Facebook
- ②Twitter
- ③You Tube

- 発信する内容

専門家の監修を受けた**薬物乱用に係る最新情報や訪問事業の内容報告**等を随時アップすることで、訪問対象とならなかった青少年に対しても、訪問と同等の効果を得られるような内容にする。

また、訪問を受けた青少年のリアルな声を収集するとともに、訪問内容案についても募集を行い、より効果的な啓発内容につなげる。

- その他の補完事業

テレビCMを深夜枠で放映し、薬物乱用防止を広く訴える。



【イメージ図】

## <薬物乱用防止啓発のためのFacebook及びTwitterの活用>

- 薬物乱用防止啓発訪問事業の一環として、Facebook及びTwitterのアカウントを取得。
- これらを通じて薬物乱用に係る最新情報や訪問事業の内容等を随時掲載し、薬物乱用の弊害等について、効果的な啓発活動を実施していく。

Facebook : STOP the 薬物! ~断る勇気が未来をつくる~  
Twitter : <https://twitter.com/StopTheDrug>

「平成26年度薬物乱用防止啓発事業」申込シート

申し込み日	年 月 日( )
学校名	
ご住所	〒 -
ご担当者名	様
ご連絡先	TEL : _____ FAX : _____
	Mail : _____

提供させていただくパッケージプログラムは専門の講師だけでなく学校の養護教諭や体育教諭の方でも授業を進められるよう、指導マニュアルを用意しております。講師派遣、パッケージプログラム提供のどちらも、講義の流れ、内容は同じです。なお、講師派遣の場合、日程につきましてはご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。

**ご希望日程の確認**

プログラム希望		<input type="checkbox"/> 講師派遣	<input type="checkbox"/> パッケージプログラム提供
希望予定日	第一希望	月 日( )	: ~
	第二希望	月 日( )	: ~
	第三希望	月 日( )	: ~
参加人数		名	参加学年 年生
実施場所		教室・体育館・視聴覚室・その他( )	

※参加人数にご記入いただいた人数分の資料を送付します。

**訪問先で用意して頂きたい資材等**

- ・DVDプレイヤー 1台    ・パソコン 1台(パワーポイントが使用できるもの)
- ・マイク 1本    ・プロジェクター 1台
- ・会場設営    ・パンフレット及びアンケートの事前配布

※DVD教材は実際に使用するDVDプレイヤーで映像が流れるか、事前にご確認ください。  
 ※パワーポイントデータは、Webにて事前にダウンロードください。(詳細は別途お知らせいたします。)  
 また、実際に使用するパソコンで使用可能か、事前にご確認ください。

**講義終了後**

「ご記入していただいたアンケート」と配布した「DVD教材」を返送していただく費用のみご負担いただく形となります。何卒、ご了承ください。

※ご返送につきましては講義実施後3週間以内に、下記返送先までお送りください。

返送先: 〒164-0011  
 東京都中野区中央2-9-1 サンロータスビル 3F  
 薬物乱用防止啓発事業事務局 宛  
 電話: 03-5330-3043

お問い合わせ先: 薬物乱用防止啓発事業事務局  
 電話: 03-5330-3043 FAX: 03-5330-3377  
 メール: d-info@spb.co.jp

※資材のみの提供をご希望の場合も、上記にご連絡ください。